

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

牛久市誕生の前日

昭和61年5月31日撮影

牛久市所蔵



この写真は、牛久「町」から牛久「市」へ移行する記念すべき日、昭和61年5月31日に役場構内で行われた「さようなら牛久町感謝の集い」を撮影したものです。翌6月1日には「市制施行記念祝賀祭」が開催され

ました。両日ともに、郷土の発展を祝い、各文化団体、幼稚園児、小中学生による演技披露、芸能人による歌謡ショー、商工会、農協などの地場産品即売が行われ、大勢の家族連れで賑わいました。



明治・大正・昭和の「昔のうしく」の写真を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

第6回

ネムノキ

花序：城中町斜面林
平成23年8月2日撮影

開花期の樹冠：牛久自然観察の森
平成23年7月4日撮影

マメ科の高さ10m以上になる落葉広葉樹の高木。本州から琉球に分布し、県内でも全域にあります。市内では斜面林や雑木林に自生するほか、公園などに植栽されています。葉は羽状複葉（小葉が葉軸の左右に羽状に並んでいる状態）で

互生し、長さ5〜15cm、小葉は15〜33対ついています。花は6〜8月に10〜20花が頭状に集まり、桃紅色をした糸状の雄しべが繊細で美しく目立ちます。果実は豆果で広線形、扁平、茶褐色、長さ7〜15cm、中に長さ8〜9mmの楕円形の種子が10〜18個入っています。小葉が夜間に閉じることが名前の由来になっています。

※牛久の里山樹木ハンドブック21ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森（☎874・6600）まで。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ（文章：石川満夫、写真：〈樹冠〉戸塚昌宏・〈花序〉渡辺泰）

文芸さろん | 水無月

初夏と成り腰をのびして深呼吸
五月ばれ新茶のかおり初夏をまつ
進学し窓の明かりがひとつ消え
バス停で小さき野花風にゆれ
蚊をたたきひらく手のひらそっとみる
青葉萌え湖上を元気におよぐ鯉
広大な農地耕す耕運機
運転席に老婆の笑顔
風強き庭に今年の藤の花
少し短かき花房垂れぬ

小山さん
枝さん
雅子
ヒロシ
サッコ
岡村さん
高橋さん
匿名希望

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係
FAX：873-2512

E-mail：shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨（ペンネームもOK）

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)